

第1分科会

あなたの大学の学習環境を教えてください！

報告者

澤 宏司 同志社大学 学習支援・教育開発センター 准教授

千葉 美保子 甲南大学 全学教育推進機構 全学共通教育センター 准教授

岩崎 千晶 関西大学 教育推進部 教授

コーディネーター

多田 泰紘 京都橘大学 経営学部 専任講師

〈第1分科会〉

あなたの大学の学習環境を教えてください！

コーディネーター

京都橘大学 経営学部 専任講師

多田 泰紘

○本分科会のねらい

近年、大学において正課外での学びや、正課と正課外を結びつける学習の場と機会の提供が進んでいる。一方で、大学教育の潮流は激しさを増している。これまでの18歳人口の減少という風潮に加えて、コロナ渦による乱流が生じ、水先は一層見えにくくなっている。このような状況の変化と多様な学生に対応するうえで、大学教育を支える学習環境の議論はますます重要となっている。

そこで、第1分科会では「大学の学習環境」をテーマとし、3名の先生による事例報告と参加者からの質疑応答を通して、学習環境を設置・運営・改善していく手法や考え方について知見の共有と議論を行った。

ここで言う「学習環境」とは、大学生の学習を促進する要素のひとつであり、多くの場合、大学が提供する資源やコミュニティのことを指す。学習環境は図1に示した物理的な学習環境と社会的な学習環境に類別される（山内, 2020）が、これらは互いに連携し、相互作用を及ぼしながら学生の学びを支えている。

このうち、物理的な学習環境に含まれる「コモンズ」、社会的な学習環境に含まれる「学生スタッフ」と「学習支援」の実際の大学における取り組み事例を、3名の先生にご発表いただいた。

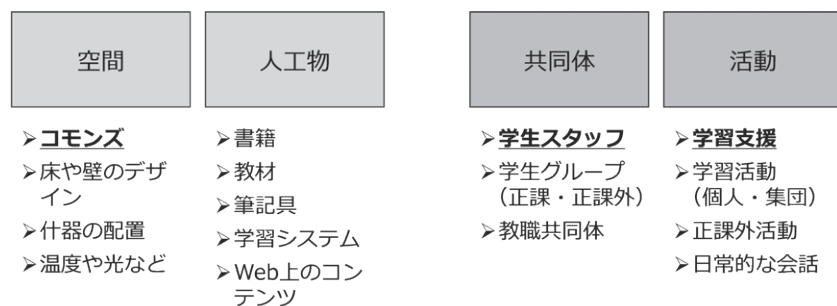


図1. 学習環境の類別

太字は本分科会での事例共有のテーマを示す。山内（2020）を参考に加筆した。

○報告の概要

最初に同志社大学でラーニング・コモンズの運営に携わっておられる澤宏司先生より、「学習空間とその接点」というタイトルでご発表いただいた。同志社大学はラーニング・コモンズの老舗と言える大学で、これまで学習支援に関するさまざまな取り組みをされてきた。今出川キャンパスのコモンズが有名であるが、近年、理系や文理融合型の学部が設置されている京田辺キャンパスにもラーニング・コモンズが誕生している。本発表では、この2つのラーニング・コモンズでの取組についてご発表いただいた。

次に甲南大学の学生スタッフ「ラーニング・アシスタント」制度の運営に携わっておられる千葉美保子先生より、「正課・正課外で学びを支援するラーニング・アシスタントの取り組み」というタイトルでご発表いただいた。甲南大学のラーニング・アシスタントは、授業内での受講生のサポートから、授業外での学習支援まで、広く学びを支える共同体のひとつである。今回はそのラーニング・アシスタントの取り組みについてご講演いただいた。なお、今回は千葉先生だけでなく、現役のラーニング・アシスタントにもご参加いただき、学生からみた学習環境について意見共有がなされた。

最後にご登壇いただいたのは、関西大学の学習支援、特にアカデミックライティング（レポートや卒業論文などの執筆）の学習支援に携わっておられ岩崎千晶先生より、「自律的な書き手を育むためのライティングセンターにおける10年の歩み」というタイトルでご発表いただいた。関西大学のライティングセンター「ライティングラボ」では、学部や学年を問わず、授業外でアカデミックライティングの質問・相談に対応している。この質問・相談に当たるのは教員だけではなく、大学院生やPDの「チューター」が含まれる。本発表ではライティングラボでの学習支援の取り組みに加えて、「チューター」制度の運用についても知見をご共有いただいた。

○報告に対する質疑ならびに全体討議の内容

3名の先生による事例報告を受けて、参加者から多くの建設的な質問が寄せられた。ここでは主要な質問とその回答について取り上げる。

- Q1. 図書館との連携はどのようになっているか？
- A1. 大学により内容や頻度は異なるが、図書館と連携したイベントの開催や、図書館での学生スタッフの活動などがある。
- Q2. 障がいを抱えた学生の対応について事例があれば教えてほしい。
- A2. 障がい学生をサポートする部局との連携体制の構築や、スタッフの研修テーマに「障がい学生支援」を取り入れている。
- Q3. (澤先生への質問) 学習支援 LA が対応できる内容と相談内容のマッチングはどのようにされているか？
- A3. LA はシフト制で学習相談に対応しており、LA の所属 (専門分野) シフト表に記載し、公開している。ただ、「一方向的な指導にしない・一緒に考える」という意味では、少し専門分野の外にある相談に対応することも価値があると考ええる。
- Q4. (千葉先生および甲南大学 LA への質問) ライティングサポートの内容や実際の対応はどのようになっているか？
- A4. 甲南大学 LA のライティングサポートは、特定の授業の課題と結びついている (寄せられる相談は同じ課題のものになる)。ただし相談内容は個人で異なるため、LA は相談学生の疑問や課題を聞き取って対応する。稀に、課題の意図を LA も把握しづらい時があり、そのような場合は担当教員へ質問するよう促している。
- Q5. (岩崎先生への質問) ライティング支援を受けた学生のレポート等の評価はどのように変わったか？
- A5. 関西大学ライティングラボでは、自立的な書き手の育成に注力しており、目前の評価を上げるための指導や添削はしていない。ただ、自身の授業でライティングラボの支援を受けた学生の事前事後のレポートを見ると、学生のライティング力の向上が実感できる。

【参考文献】

山内祐平 (2020) 『学習環境のイノベーション』 東京大学出版会。

スライド1

2023年2月23日（木・祝） 9:30-11:30
大学コンソーシアム京都 第28回FDフォーラム「挑×選」

第1分科会
あなたの大学の学習環境を教えてください！

コーディネーター
多田 泰紘
tada-y@tachibana-u.ac.jp

京都橘大学

スライド2

自己紹介

多田泰紘 ただ やすひろ

● 所属
京都橘大学 経営学部
教育開発・学習支援室

● 専門
大学教育、学習支援、学習評価

● 教育活動
アカデミックスキル、アカデミックライティング、
ラーニングコモンズ運営、ライティング支援、LAの研修



京都橘大学

スライド3

プログラム

9:32 趣旨説明
京都橘大学 経営学部 専任講師 多田 泰紘 氏

9:40 講演1.「学習空間とその接点」
同志社大学 学習支援・教育開発センター 准教授 澤 宏司 氏

10:05 講演2.「正課・正課外で学びを支援するラーニング・アシスタントの取り組み」
甲南大学 全学教育推進機構 全学共通教育センター 准教授 千葉 美保子 氏

10:30 講演3.「自律的な書き手を育てるためのライティングセンターにおける10年の歩み」
関西大学 教育推進部 教授 岩崎 千晶 氏

10:55 休憩・質問受付

11:00 質疑応答・全体討論

11:30 分科会終了

京都橘大学

スライド4

大学の学習環境

大学生の学習（学修）を促進する要素のひとつであり、多くの場合大学が提供する資源やコミュニティのこと。

学習環境は、物理的な学習環境と社会的な学習環境に類別される¹⁾。*それぞれが単独で効果を発揮するわけではない。

空間	人工物	共同体	活動
> コモンズ > 床や壁のデザイン > 什器の配置 > 温度や光など	> 書籍 > 教材 > 筆記具 > 学習システム > Web上のコンテンツ	> 学生スタッフ > 学生グループ（正課・正課外） > 教職共同体	> 学習支援 > 学習活動（個人・集団） > 正課外活動 > 日常的な会話

京都橘大学 ¹⁾山内祐平 (2020)『学習環境のイノベーション』

スライド5

事例を共有し、議論を深めます。

合い言葉は
「あなたの大学の学習環境を教えてください！」

京都橘大学

スライド1

学習空間とその接点

澤 宏司
同志社大学
学習支援・教育開発センター
2023/02/23 FDフォーラム

スライド2

概要

- ・ 学習空間
 - ・ 人員体制
 - ・ 機能
 - ・ 空間の変容
- ・ その接点
 - ・ 広義の空間

スライド3

2つのラーニング・コモンズ(LC)



今出川キャンパス
文系学部が主
2,550㎡ 2013年～



京田辺キャンパス
理系学部が主
626㎡ 2018年～

スライド4

人員体制

- ・ 所管部課：学習支援・教育開発センター
- ・ 管理・運営体制：
 - ・ センター所長 専任教員3名 特定業務職員2名 事務室5名
 - ・ 学習支援コーディネーター 受付など
 - ・ ラーニング・アシスタント(LA)
 - ・ 今出川16名
 - ・ 京田辺17名



スライド5

機能

- ・ 学習スペース
 - ・ 個人
 - ・ グループ
- ・ イベントスペース
- ・ 学習相談：2,523件
*22/04/01-23/02/22 2校地+オンライン
- ・ セミナーやイベント



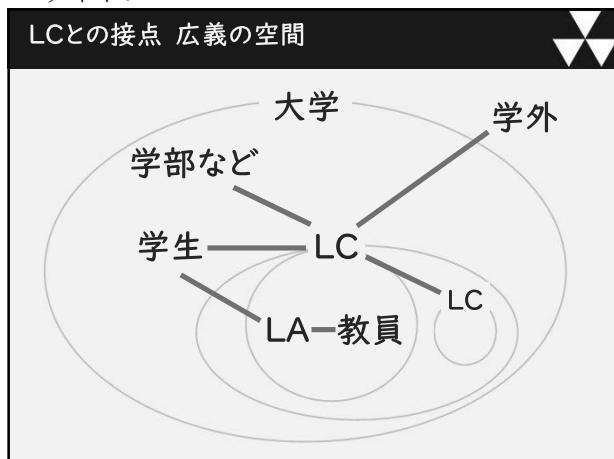

スライド6

空間の変容

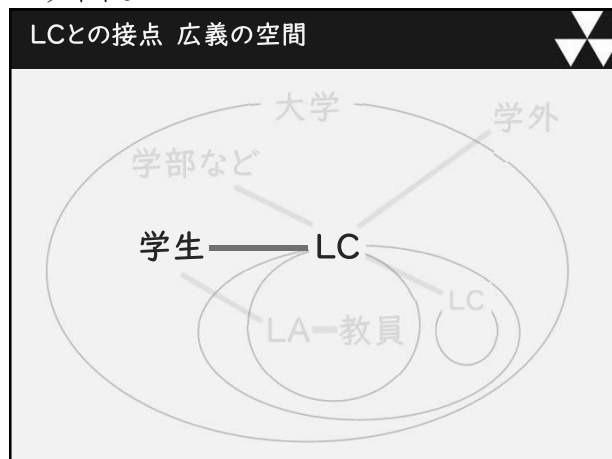
- ・ 学習スペース
 - ・ 個人
 - ・ グループ
 - ・ 「図書館と何が違うの？」
- ・ オンライン化
 - ・ 今出川、京田辺につぐ
3番目の空間を目指す



スライド7



スライド8

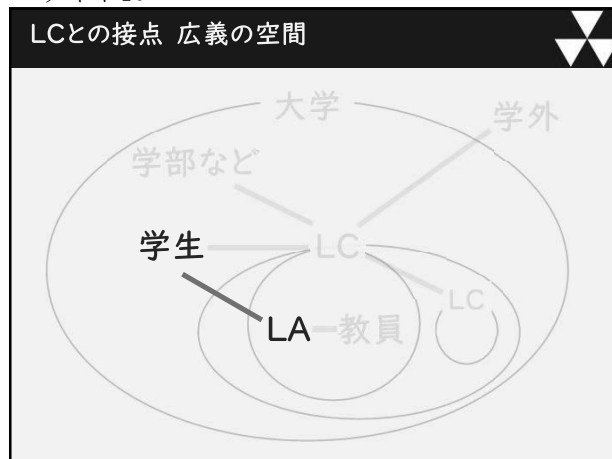


スライド9

学生-LC

- 物理的な導線や距離が重要
 - 出張学習相談「おいでやす」
 - 場所の工夫「ASA Mini」
 - 室外モニタの活用
- 「自習⇄相談」の循環（後述）

スライド10



スライド11

学生-LA

- イベント
 - コモンズランチ会
 - 日本語ライティングサポート
 - ますびた!
 - アイデアの交流会
- 広報誌
COMMONS PRESS

スライド12

学生-LA

- 機器
 - 体温測定システム
 - 指向性スピーカー
 - ラコモみくじ
 - 「実験場だと思って」
- ふせん相談
- ちょっと年長のロールモデル
- 「先生ではない」（後述）

スライド1

2023年2月23日
大学コンソーシアム京都FDフォーラム

見つける、きみのなかの無限大。
KONAN INFINITY

第1分科会「あなたの大学の学習環境を教えてください！」

**講演2「正課・正課外で学びを支援する
ラーニング・アシスタントの取り組み」**

甲南大学 全学教育推進機構
全学共通教育センター／教育学習支援センター
千葉美保子

スライド2

見つける、きみのなかの無限大。
KONAN INFINITY

報告の流れ

本報告では学習環境のキーワードのうち、「ラーニング・アシスタント」における甲南大学の事例を紹介

1. 甲南大学の概要紹介
2. ラーニング・アシスタント（LA）制度の概要
3. 正課におけるLAの取り組み（導入事例）
4. 正課外の学びを支援するLAの試み（LSチームの活動）
5. LAからの視点

2

スライド3

見つける、きみのなかの無限大。
KONAN INFINITY

1. 甲南大学の概要紹介

- ・ 開校 1951年（甲南学園1919年創立）
- ・ 8学部14学科
- ・ 学部生8,667人（2022年度）
- ・ 岡本、西宮、ポートアイランドの3キャンパス
- ・ 建学の精神「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」

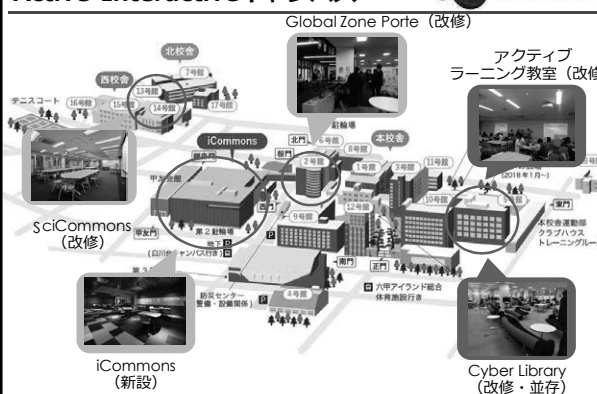
学生が学生同士、教職員、卒業生・地域住民と融合できる「Active-Interactiveキャンパス」を戦略に掲げ、2015年度より段階的に施設・整備を充実



スライド4

見つける、きみのなかの無限大。
KONAN INFINITY

Active-Interactiveキャンパス



スライド5

無限大の可能性を引き出す
甲南大学の人物教育

人物教育のフレームワーク



スライド6

見つける、きみのなかの無限大。
KONAN INFINITY

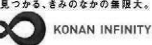
2. ラーニング・アシスタント制度の概要

- **ラーニング・アシスタント（LA）制度**
- ・ 2015年度よりアクティブラーニング型授業の活性化を目指して制度を導入
- ・ “Teaching is Learning”をモットーに掲げる
- ・ 毎年のべ100名以上がLAとして活動



6

スライド7

2. ラーニング・アシスタント制度の概要 

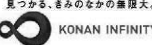
● 運営主体は教育学習支援センター

- 2015年4月発足
(情報教育研究センター(教育系IT部門)より改組)
- 専任職員 3名(兼任1名)、嘱託1名、派遣社員1名とラーニングcommonsのカウンター業務3名で業務を遂行(教員は兼任)
- FD、IR、教育学習支援(LA制度)、ラーニングcommonsの運営が中心業務



7

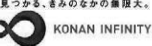
スライド8

2. ラーニング・アシスタント制度の概要 

- 学期2回の研修、報告書を通じた振り返り
- 課外活動としてのLSチームも組織化
- 導入研修(ファシリテーション研修)
—LA希望者に対し、各学期はじめに教育学習支援センターの専任教職員および外部講師によるファシリテーションに関する研修を実施
※2021年度よりLA企画として外部講師とともにLAが研修を企画、実施
- 振り返り研修
—学期途中に実際にLA活動を行ってみたいの振り返りや先輩LAへの相談の機会を設け、学期後半の活動につなげる研修を実施
- ファシリテーション報告書
—毎授業ごとにファシリテーション報告書の作成を通じて振り返りを促し、次の活動に活かすように支援
- LSチームでの課外活動
—学びに関するさまざまな班に分かれ活動し、教職員も支援

8

スライド9

2. ラーニング・アシスタント制度の概要 

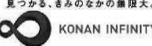
● 授業内外を含めたA～Dの4種類のLA制度

種別	LAの業務内容	活動
A	授業科目において、グループワーク等のファシリテーション、質疑への対応等	授業内
B	実験・実習科目において、技術や知識面での支援、実験や実習による学習が効果的になるためのアドバイス等	授業内
C	授業で課される課題レポート等について、基本的な文章の書き方や構成についてのアドバイス等	授業外
D	授業担当教員によるオフィスアワーまたは学習支援デスクにおいて、授業内容を基本としつつも大学での学び全般についてのアドバイス等	授業外

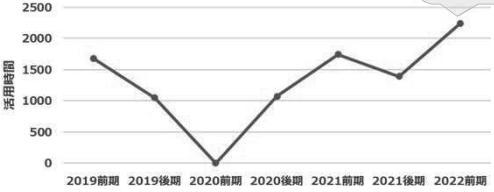
※本報告では種別Aと種別Cの事例を紹介

9

スライド10

2. ラーニング・アシスタント制度の概要 

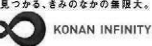
● コロナ禍を除き、LA活用授業は年々増加

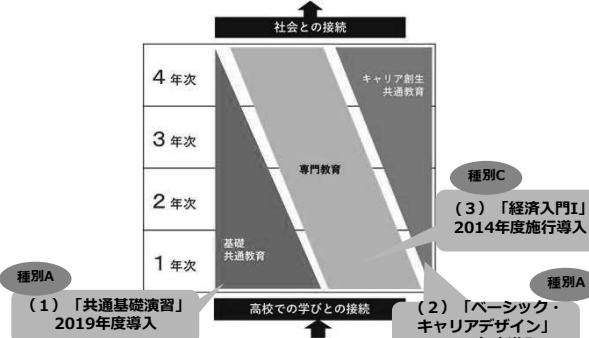


※採用科目の増加にともない、LAの兼任も拡大

10

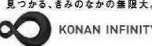
スライド11

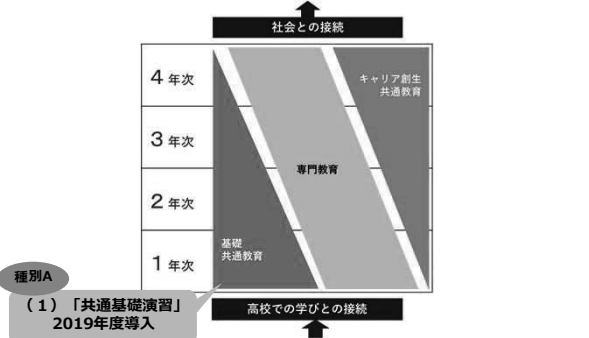
3. 正課におけるLAの取り組み(事例) 



11

スライド12

3. 正課におけるLAの取り組み(事例) 



12

スライド13

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

事例（１）：「共通基礎演習」

科目：初年次選択必修科目
対象：全学部
開講：1年次前期・後期（2単位）
授業形態：講義＋グループワークのAL型授業
開講件数：前期は月、火、水、金、後期は月、金
 20名×42クラス開講、約800名が受講
 計15名の担当教員、全学教育推進機構事務室と連携

授業内容：

- ・合同授業によるアカデミックスキル（ノートテイキング、プレゼンテーション、アカデミックライティング）の獲得、自校教育
- ・授業3回分を用いたチームビルディング研修
- ・授業6回分を用いたプロジェクト学習を通じ、学部教育の専門性を協働を通して学習するために必要とされるスキル（チームビルディング・自己探求・コミュニケーション能力・課題発見・問題解決・情報発信力）の習得

13

スライド14

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

特徴①自己探求プログラム

授業3回分を用いチームビルディング研修を実施

- ・「自己開示」「他者への理解」「協働の重要性」を認識できるよう設計、プロジェクト学習に繋げる
- ・アイスブレイク・教育ゲーム等を担当教員・ラーニングアシスタントのチームで実施

14

スライド15

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

特徴②プロジェクト学習

- －4～5人の学部横断グループでのプロジェクト
- －2～3クラス（40～60名）をチームティーチングで進行
- －大学の部署等との連携による学内プロジェクトがメイン
- －成果発表会において評価表によるピア評価を実施

テーマ例：

- 「大学の魅力を高めるための提案」
- 「オープンキャンパスの企画を提案する」
- －グループワーク、調査作成等を経て提案
- －授業外に企画書、プレゼンテーション作成動画の視聴

1週目	2週目	3～5週目	6週目	7週目	8週目
アイスブレイク、授業参加の決定、テーマ検討	テーマ検討、企画内容の検討	企画書を基にスライドの作成、企画に必要な調査の実施	発表リハーサル	成果発表会（予演）、ピア評価、教員講評	成果発表会（本演）、ピア評価、教員講評

15

スライド16

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

プロジェクト学習の様子



<https://www.konan-u.ac.jp/education/celas/> 16

スライド17

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

発表会の様子



<https://ch.konan-u.ac.jp/information/category-3/1598.html>

スライド18

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

「共通基礎演習」でのLA活動

導入背景、目的：

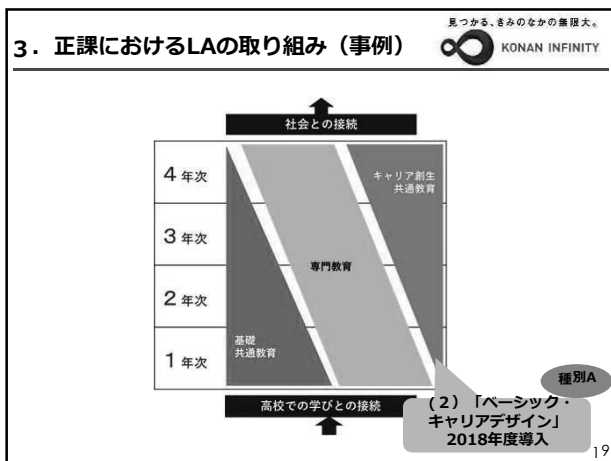
- －2019年度よりLA制度を本格的に活用開始
- －導入教育における縦と横の繋がりを支援する（受講生同士、受講生と先輩同士の繋がりを支援する）

具体的なLA活動：

- －グループワークでのファシリテーション支援
- －プレゼンテーションの際のアドバイス、スライド作成支援、発表へのフィードバック
- －（2020-21年度）Zoom上のブレイクアウトルームを巡回し、グループワークを支援

18

スライド19



スライド20

事例（2）：「ベーシック・キャリアデザイン」

見つかる、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

科目：初年次キャリア教育科目
対象：6学部（各学部ごとに開講）
開講：1年次前期・後期（2単位）
授業形態：講義＋グループワークのAL型授業
開講件数：2022年度は前期・後期計12クラス開講
 報告者の担当科目は40～120名程度

授業内容（抜粋）：

- 自己分析や価値観に関する講義＋ワーク
- グループによるミニプロジェクト（PBL）
- ゲスト講師による講演会&ディスカッション
 （OB・OG、地域で活躍する社会人によるライフストーリーの共有）
- 課題図書を通じた間接体験

20

スライド21

「ベーシック・キャリアデザイン」でのLA活動

見つかる、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

導入背景、目的：

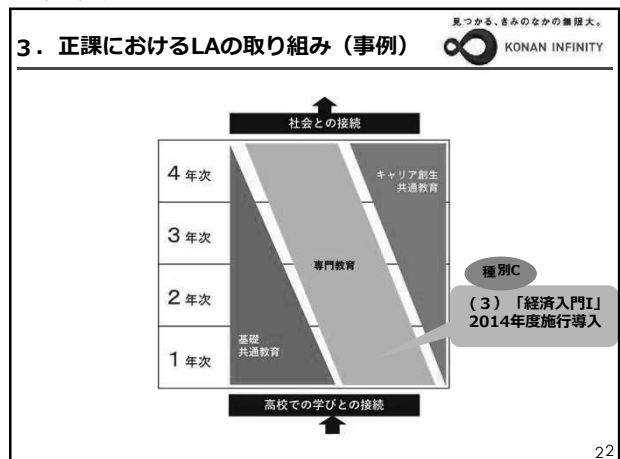
- ー2018年度よりLA制度を本格的に活用開始
- ーグループワークでのファシリテーション支援
- ーロールモデルとしてのLAの存在

具体的なLA活動：

- ーグループワークでのファシリテーション支援
- ープレゼンテーションの際のアドバイス、スライド作成支援、発表へのフィードバック
- ー（2020-21年度）Zoom上のブレイクアウトルームを巡回し、グループワークを支援
- ー「LA企画」として、LA自身が受講生へ向けたグループワークの企画、実施

21

スライド22



スライド23

事例（3）：「経済入門I」

見つかる、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

科目：経済学部必修科目
対象：経済学部
開講：1年次前期（4単位）、約400名
授業形態：講義クラス＋演習クラスの2部構成
 受講生を3クラスに分け、4月下旬、5月末、6月末に授業外でライティング・サポートを実施

具体的なLA活動：

- ー授業課題(800字～1200字程度のレポート)に対するアドバイス、1人20分
- ー授業時間外にサイバーライブラリ、アクティブラーニング教室、テレビ会議システムZoomにて実施

23

スライド24



スライド25

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

3. 正課におけるLAの取り組み（事例）

- LA導入の効果（2021年度）
 - ◆この授業を通じて、知識が深まった、能力が高まったと感じますか？

- ◆総合的に判断して、この授業は満足できるものでしたか？

※記載数値は、選択肢を下記の通り点数付けし、平均化したもの
5. そう思う 4. どちらかといえばそう思う 3. どちらとも思えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

授業改善アンケート対象LA活用科目数: 21科目
ライティングサポート（WS）活用科目を除く

25

スライド26

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

4. 正課外の学びを支援するLAの試み（LSチームの活動）

- KONAN サーティフィケート制度
 - 授業では評価しきれない、学生の個性ある挑戦を大学が評価・認定する制度
 - 5つのサーティフィケートが展開 ※2023年度新分野創設予定
 - 累計エントリー1,927名、挑戦中の在学生1,069名 (2022年2月時点)

(<https://www.konan-u.ac.jp/konancertificate/>)

26

スライド27

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

4. 正課外の学びを支援するLAの試み（LSチームの活動）

- ラーニングサポート（LS）サーティフィケート
 - 学生による学習サポート活動に、率先して挑戦し、また自己の能力向上に継続的に取り組むことで、ラーニングサポーターとして成熟し、成長した学生たちを支援、認定

(<https://www.konan-u.ac.jp/lucks/certificate/>)

27

スライド28

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

4. 正課外の学びを支援するLAの試み（LSチームの活動）

- ラーニングサポート（LS）チーム
 - “学内の学習をサポートする集まり”として結成された団体
 - 色々な学生が1つのチームとして繋がり、よりサポートを充実させるためにLA経験者を中心に結成

- ◆主な活動内容
 - 企画班…新入生対象イベントなど、各種企画
 - オープンキャンパス班…キャンパスツアー協力、イベント企画など
 - 広報班…SNS運用、情報発信など
 - 研修班…LA研修企画、運営など
 - 交流会班…交流会企画、運営など

28

スライド29

見つける、きみのなかの無限大。 KONAN INFINITY

5. LAからの視点

ラーニング・アシスタントから、LA活動・LS活動を通じての学びを報告！

甲南大学経済学部4年 西海真央（にしうみまお）さん
…「ベーシック・キャリアデザイン」
「経済入門I」でのライティングサポートを中心に活動
LSチームでは、交流会に所属

甲南大学経済学部4年 柳優里（やなぎゆり）さん
…「共通基礎演習」、
「経済入門I」でのライティングサポートを中心に活動
LSチームでは、オープンキャンパス、交流会に所属

29

スライド30

2023.02.23 大学コンソーシアム京都FDフォーラム分科会

- 自己紹介
 - 甲南大学 経済学部経済学科
 - 4年生 西海真央（ニシウミマオ）
 - 活動内容：共通基礎演習
ベーシック・キャリアデザイン（経済、経営、法）
経済入門I（ライティング・サポート）
LSチーム（交流会）
- ベーシック・キャリアデザイン / 経済入門I（ライティング・サポート）
 - 1人ひとりを大切にすること
 - 否定せずに、受け入れる姿勢を持つ
- LSチーム（交流会）

スライド31

甲南大学 経済学部4年

柳 優里(やなぎ ゆり)

I. 活動内容

共通基礎演習・BCD

ライティングサポート(経済入門Ⅰ・地域連携)

LSチーム(オープンキャンパスツアー・交流会)

II. 共通基礎演習(種別A)

III. LSチーム

スライド32

まとめ



1. 甲南大学の概要紹介
2. ラーニング・アシスタント(LA)制度の概要
3. 正課におけるLAの取り組み(導入事例)
4. 正課外の学びを支援するLAの試み(LSチームの活動)
5. LAからの視点

正課でのラーニング・アシスタント活動とともに、
正課外のラーニングサポート活動を今後も展開

32

スライド33



ご清聴ありがとうございました。

千葉美保子
(mchiba@konan-u.ac.jp)



スライド1

自律的な書き手を育むための ライティングセンターにおける10年の歩み



関西大学 教育推進部
岩崎千晶

<http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~ciwasaki/>

© 2023 Chiaki Iwasaki.

スライド2

岩崎千晶 (Chiaki Iwasaki)

- 所属
 - 関西大学 教育推進部 教授
 - 教育開発支援センター 副センター長
 - 日本教育工学会 理事
 - 日本教育メディア学会 理事
 - 大学教育学会 代議員
- 専門
 - 教育工学, 大学教育学, 学習環境デザイン
- 著書
 - 『大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン』(編著) 関西大学出版部 2022年
 - 『教育工学選書Ⅱ 教育工学における大学教育研究』(共著) ミネルヴァ書房 2020年
 - 『大学のゼミから広がるキャリア: 構成主義に基づく「自分探し」の学習環境デザイン』(共著) 北大路書房 2020年
 - 『主体的・対話的で深い学びの環境とICT』(共著) 東信堂 2018年
 - 『教育の方法と技術: 学びを育てる教室の心理学』(共著) ナカニシヤ出版 2017年
 - 『教育工学選書Ⅱ 大学授業改善とインストラクショナルデザイン』(共著) ミネルヴァ書房 2017年
 - 『大学生の学びを育む学習環境デザイン』(編著) 関西大学出版部 2014年
 - 『映像メディアのつくり方』(編著) 北大路書房 2008年 等

詳細は <http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~ciwasaki/>




1

スライド3

教育開発支援センターにおける取り組み

マクロ

- 教育制度、方針の開発支援
- IR

ミドル

- カリキュラム開発支援
- FDセミナー、授業コンサルテーション

ミクロ

- FD教材 (eラーニング・テキスト) 開発
- カリキュラムマネジメント
- 授業アンケート
- 学習支援
 - ライティングセンター
 - 学生スタッフの育成
- 課外学習支援




<https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/teacher/tool.html>

© 2023 Chiaki Iwasaki.

スライド4

さまざまな 学習支援

© 2023 Chiaki Iwasaki.

スライド5

正課、正課外における学習支援

- ティーチングアシスタント
- ラーニングアシスタント・スチューデントアシスタント
- ラーニングコモンズにおける学生スタッフ
- ライティングセンターにおける学生スタッフ

© 2023 Chiaki Iwasaki.

スライド6

ライティングセンター の動向

© 2023 Chiaki Iwasaki.

スライド7

日本の高等教育におけるライティングセンター

- 4年制大学を対象に実施した調査（文部科学省）によるとライティングセンターを保有する大学は約一割
- 2014年が59大学（7.5%）
- 2018年が90大学（11.5%）

© 2023 Chiaki Iwasaki.

6

スライド8

小さく生んで
大きく育てる
気持ちでスタート

© 2023 Chiaki Iwasaki.

7

スライド9

ライティングラボの誕生

- 2011年 文学部が「卒論ラボ」を開始
- 2012年 教育推進部が全学部「ライティングラボ」を開始
- 個別相談(学部生, 修士課程の院生)
- 出張講座
- ワンポイント講座
- 予約システムの開発
- 教材作成

© 2023 Chiaki Iwasaki.

8

スライド10

ライティングラボの体制

- 教育開発支援センター長
- 教育開発支援センター副センター長
- 特別任用助教
- アカデミックアドバイザー
- 職員約2~3名

→教育開発支援センターにデスクがあり日常的に話し合える環境

- チューター(博士課程・PD等 時給1500円) 約20名
- 千里山3か所(図書館・理工系学舎・文系学舎)、高槻・MUSE・堺に各1か所

© 2023 Chiaki Iwasaki.

9

スライド11

自律的な書き手を
育むための手立て

© 2023 Chiaki Iwasaki.

10

スライド12

ライティングラボの理念

- 添削によって答えを与えるのではなく、**対話による指導をと**おして、**自分で問題を発見し、考え、解決する力を育成**します。
- 学術的な文章作成の訓練をとおして、**社会に出てからも使える「書く力」**を総合的に養い、社会で活躍できる人材の育成に貢献します。
- 学部教育と密接に連携して、専門教育のさまざまな場面でライティングサポートをおこない、教育の効果を高めます。

(出典) 関西大学ライティングラボ「ライティングラボとは」(2022/3時点)
<https://www.kansai-u.ac.jp/cti/labo/about/>

スライド13

個別相談で大切にしていること

- 1回40分のセッション（レポート、卒論、プレゼン、留学志望動機等）オンラインも可
- 年間約1300件の利用
- 利用者満足度99%
- 対話によって自律的な書き手を育む

© 2023 Chiaki Iwasaki.

12

スライド14

チュータリングのサイクル

- 導入
 - 挨拶、話しやすい場づくり
 - ヒアリングをもとに課題を焦点化させ、いくつかの項目に分類
- 展開
 - 優先順位を決め、どのように改善していくのかを検討
 - 実施（質問・対話・自分で学べる教材を紹介）
- まとめ
 - 学んだことをふりかえり、自分で何をを進めるのかを確認
 - 終わりの挨拶

Copyright © Chiaki Iwasaki All Rights Reserved.

13

スライド15

自律的な書き手を育むため授業と異なるところ

授業	ライティング学習支援
教員が課題を発見する	学生とチューターがレポートの課題を焦点化させる
教員が授業目標を設定する	学生が、あるいは学生とチューターがセッションの目標を設定する
教員が授業内容について解説をする	チューターが学生に質問をして、対話を通して、レポートを改善する
教員が宿題を設定する	学生とチューターで授業外に自分で修正する項目を決める

© 2023 Chiaki Iwasaki.

14

スライド16

ライティングセンターの存在を知り、利用者を増やすために

- 利用者の数が格段に伸びているわけではない
 - 学生はレポートの字数を満たすことで達成感を持つことも多く、レポートの課題を感じる事が難しい場合も...
- 利用者を増やすための工夫
 - 1年生のオリエンテーション
 - ワンポイント講座
 - 出張講座

© 2023 Chiaki Iwasaki.

15

スライド17

個別相談外でも自律的に学ぶために

- Eラーニングの開発（コロナ禍で大活躍）
 - ・ 動画(約8分)・スライド資料(PDF)・確認問題
 - ・ B学部の希望で全学部生がコース登録
- ガイドの開発
- ルーブリックの開発（レポートやプレゼン）



© 2023 Chiaki Iwasaki.

16

スライド18

ライティングラボからのお知らせ 授業内外で活用できる動画資料を関大LMSで公開中!!

コースを「ライティング力を高めて、いいレポート・卒論を書こう!」(アクセス方法) 関大LMS(<https://lulms.tl.kansai-u.ac.jp/>) → 右下[コースの追加] → 上記コース名の[メンバーになる]をクリックする。

レッスンNo.	テーマ	各テーマの学習目標
1	1 レポートライティングの心構え	• 基本的なレポートの書き方について説明できる • レポート執筆のための計画を立てることができる
	2 「文章を書く」とはどういうことなのか?	• 書く仕組みについて説明できる • レポートを書きたいという欲求が高まる仕組みを説明できる
	3 様々な種類のレポートと論文構成	• レポートの種類や特徴を説明できる • 基本的なレポートの構成を説明できる
	4 レポートの書き方・性質・他の書きものの違い	• レポートと他の書き物の違いを説明できる
	5 レポートのレイアウト	• レポートの基本的な体裁について説明できる
2	6 ライティングラボに行ってみよう!	• ライティングラボで何ができるかを説明できる
	1 レポートに必要な資料を探そう!	• 資料の検索に必要な基本的事項を説明できる
	2 引用・剽窃	• 引用の役割や種類について説明できる • 剽窃について理解し、剽窃にならない形で適切な引用ができるようになる
	3 参考文献の書き方	• 参考文献の書き方について理解し、著作物の種類ごとに参考文献を書き分けることができる
	4 実験ノートを書く方法	• 実験ノートを正しく書くことができる • フォールドノートを書くことができる
3	5 リーディングを深く読む方法	• 文章を深く理解する方法を説明できる
	6 リーディングクエスチョンに読む	• クエスチョン・アンド・アンスワールの基本的な考え方を説明できる
	7 レポートのテーマを設定する	• テーマ設定の基本的な考え方を説明できる
	8 レポートのテーマを決定する	• テーマ決定の基本的な考え方を説明できる
	9 レポートはバリエーション形式で書く	• バリエーション形式の基本的な考え方を説明できる
4	1 様々な種類のレポートと論文構成	• レポートの種類や特徴を説明できる • 基本的なレポートの構成を説明できる
	2 タイトル・見出しの作り方	• タイトル・見出しの基本的な作り方を説明できる • 自分の文章に適切なタイトルや見出しを考えることができる

すべてのレッスンは動画(4~8分)と理解度を確認するクイズ(2,3問)から構成されています。

17

スライド19

ライティング支援を利用した効果や成績との関連

- ループリックを活用して、ライティングラボ利用前後のライティング力の向上を確認しており、能力の向上が指摘されている
- ライティングラボ訪問前後のレポート比較、修正箇所、書き方について学んだことに関するデータはライティングラボの管理者で確認することがある
- レポート自体をよくすることを目標としていないため、成績と関わる評価はしていない
- ライティングラボでの支援内容は成績や合否の結果には一切責任を負わない旨を明示している

Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

18

スライド20

組織の発展を心がけ 少しずつ連携を増やす

Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

19

スライド21

10年が経過して…

- 千里山から全キャンパスでの支援の開始
- 授業連携—初年次教育、卒論
A学部初年次教育でのラボ活用
教員向け研修会への参加
- 教授会—利用実績の報告、初年次教育との連携
- スポーツ推薦で入学した学生への学習支援
- 併設校—探究学習、専任教員による講義、公開授業への参加→書く力を持った併設校生徒の入学

Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

20

スライド22

質の高い 学習支援の実施には

Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

21

スライド23

チューターの育成

- 新人研修
 - eラーニングと対面研修、OJT期間
- 研修は年間約6回
 - 前回（9月）はグラフィックレコーディングを活用したチュータリング
 - オンラインチュータリング、多様な学生への対応（学生相談支援センターと連携して実施）、初年次生へのチュータリング等
- Writing Center Journalも参考しつつ研修プログラムを開発
 - チュータリング方略：直接教授、認知的な変容が起きるような支援、動機付けが向上するような支援

Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

22

スライド24

チューター用 eラーニング研修

- 第1回 高等教育における学習支援
- 第2回 学習支援における学習者とのやり取り
- 第3回 ICTを活用した学習支援
- 第4回 チュータリングプロセスを考える
- 第5回 リファラルスキル
- 第6回 発達障がい・LGBTQ
- 第7回 タイムマネジメント
- 第8回 プレゼンテーション
- 第9回 理系レポート（実験レポート）
- 第10回 留学生へのチュータリング
- 第11回 日本人学生の留学志望動機書



Copyright © Chikaki Iwasaki All Rights Reserved.

23

スライド25

日々のセッションのふりかえり

- チューターによる指導履歴の記入
- 学部別利用状況の作成

© 2023 Chiaki Iwasaki.

24

スライド26

今後実施される大学に向けて

- 学舎の一角で2～3名から開始することはできる
- 大学院生が少ない大学も多いが、近隣の院生が多い大学に協力を得る可能性を考える
- 利用科目を1科目にし、同じテキスト、同じ課題に限定すると、当該科目を履修済みの学部生も対応できる。初年次教育は実施しやすいし、ライティングセンターの認知度も高まる。ただし、体系的な研修の実施や、教職員に相談できる環境の整備も必要になる
- 教職員、学生がライティングセンターで目指すことを理解した上で、学習支援に取り組む

© 2023 Chiaki Iwasaki.

25

スライド27

参考図書

- 関西大学ライティングラボ、津田塾大学ライティングセンター（2019）大学におけるライティング支援、東信堂
- 井下千以子編著（2022）思考を鍛えるライティング教育：書く・読む・対話する・探究する力を育む、慶應義塾大学出版会
- 佐渡島紗織、太田裕子（2013）文章チュータリングの理念と実践—早稲田大学ライティング・センターでの取り組み、ひつじ書房

